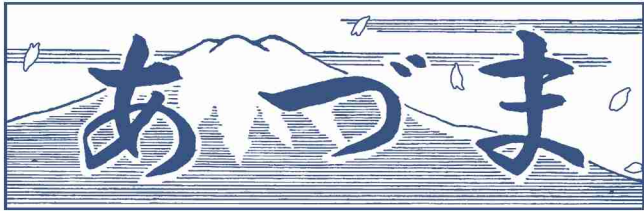


方面	予備自衛官中央訓練	(1面)
1師団	全自衛隊拳法選手権大会	(3面)
12旅団	相馬原・関山演習場整備	(4面)
1施設団	団統一検査	(5面)
関東補処	若年事務官等教育	(5面)



令和5年6月25日 第1061号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」
総監要望事項「万事作戦を基準」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙
発行所：方面総監部広報室
住所：東京都練馬区大泉学園町
専用線：8-37-2446

予備自中央訓練に57人が参加

陸幕長が初視察



検問所に対応する予備自衛官

方面隊は5月26日から30日までの間、朝霞駐屯地、富士地区、市ヶ谷駐屯地等において予備自衛官中央訓練を実施した。本訓練は全国から成績優秀な予備自衛官を招集して各種教育訓練、研修等を実施し、予備自衛官の知識及び技能を向上させるとともに、招集訓練の充実を図る目的で例年実施している。今年度は第32普通科連隊第5中隊



訓練を視察する陸幕長(右から2人目)と総監(右)



基本教練を体験する参加者

第34普通科連隊は5月12日から13日までの間、板妻駐屯地においてフォーラム21の会員52人に対し

官民のエースが集結

フォーラム21生活体験

て、団結心及び克己心を涵養し、意識改革を促進させるとともに、自衛隊に対する信頼感の醸成と



担架搬送を体験する参加者

理解の深化を図ることを目的として生活体験を実施した。フォーラム21とは21世



火災現場(状況)でほふく前進を体験する参加者

紀の日本・世界を担う新しい指導者の育成を目的として昭和62年に設立され、わが国を代表する官界、経済界から将来指導的立場になるであろう人材を会員として構成された団体である。なお34普

から担架搬送による患者救護、ほふく前進と連続して体験し、会員たちは慣れない経験であるにも関わらず全力を振り絞って目標を達成するとともに、被災地に向け前進すること、任務に対する使命感の重要性を実感した。参加者からは「体力的に辛い場面もあったが、普段では経験できない刺激的な体験ができた」とあり、また担任中隊長からは「体力的・精神的にも困難な環境において、皆で協力して目標を達成することを体験させ、参加者の団結心及び自衛隊に対する信頼感の醸成を図ることができたと思う」とそれぞれ感想を述べた。

が訓練招集部隊を担任し、全国の各地方協力本部が選出した予備自衛官57人が参加した。訓練は26日に着陸式、部隊旗授与式、精神教育等を実施した。翌27日は富士総合火力演習研修、駐屯地警備に係る法令教育、新警備システム教育等を実施した。訓練参加者の総火演習研修において

は、各種火器・火炮等の特性及び火力の効果を体感し、領域横断作戦に係る現代戦の様相を体験した。法令教育においては、総監部法務官室が駐屯地警備に必要な法的知識について教育し、訓練参加者の知識の向上及び機能別訓練並びに総合訓練への円滑な導入を図った。

28日は機能別訓練・総合訓練からなる駐屯地警備訓練を実施した。前段の機能別訓練においては検問、巡察、ヘリ輸送等が実施され、後段は総合訓練を実施し、陸上幕僚長及び総監が訓練を視察した。29日には市ヶ谷駐屯地において陸幕長訓示、永年勤続者表彰、市ヶ谷記念館研修等を実施した。陸幕長訓示及び永年勤続者表彰においては、陸幕長が訓練参加者に対し「克己」のほか自衛隊と一般社会の架け橋となるよう要望されるとともに、永年勤続者に対して直接表彰状を手渡された。

緊急時の給油に関する協定を締結



新商(株)との協定調印式



(株)武重商会との協定調印式

総監部装備部は4月24日、新商(株)(新潟県)、4月25日、(株)武重商会(長野県)との間に、関東経済産業局仲介のもと「緊急時の中核給油所における給油に関する協定」を締結した。

発生時においても継続的に運営でき、かつ緊急車両に対する優先的な給油を実施することなどを役割とする給油所として設定したものである。現在、東方面内約500コ給油所、全国で約2000コ給油所がその指定を受けているものの、これまで陸

上自衛隊として活用するための枠組みが未整備であった。この度、新潟県及び長野県内の業者との協定締結により東方面内で合計9コ給油所の活用が可能となった。本協定の締結により、災害派遣等における小規模部隊の機動展開において、最寄り駐屯地で給油するため高速道路を降りることなく、経路上の中核給油所で給油し、より迅速に目的地に前進することが可能となる。総監部装備部は今後、さらに対象中核給油所を拡大していく予定である。

富士総合火力演習

総火演成功に寄与

方面隊は5月28日、東富士演習場にて実施された、陸自最大の実弾演習「令和5年度富士総合火力演習」に隷下部隊を参加させ、陸自最大の実弾演習を支援した。



第4施設群の地雷原処理車



洗濯支援を行う東部方面後方支援隊



震ヶ浦駐屯地で物品の確認を行う関東補給処隊員(左)

総火演は島しょ部侵襲時の海空自と連携した遠距離かつ早期からの打撃

等を含めた領域横断作戦に係る現代戦の様相等を展示した。方面隊からは演習実施部隊として第30普通科連隊、第12ヘリコプター隊、第4施設群及び第2高射特科群が参加し、統裁部支援として東部方面後方支援隊及び富士病院が支援した。また関東補給処は東富士演習場及び各支処等所

部隊でできる行動法令

ジオラマ・GCSSで練度向上

方面隊は5月16日・17日の両日、朝霞駐屯地に於いて令和5年前期行動関係法令集合訓練を実施し、方面直轄部隊等の運用・訓練担当者等に対し、行動関係法令のさらなる普及に努め、部隊及び隊員の行動に係る識能の向上を図った。



ジオラマを活用した訓練

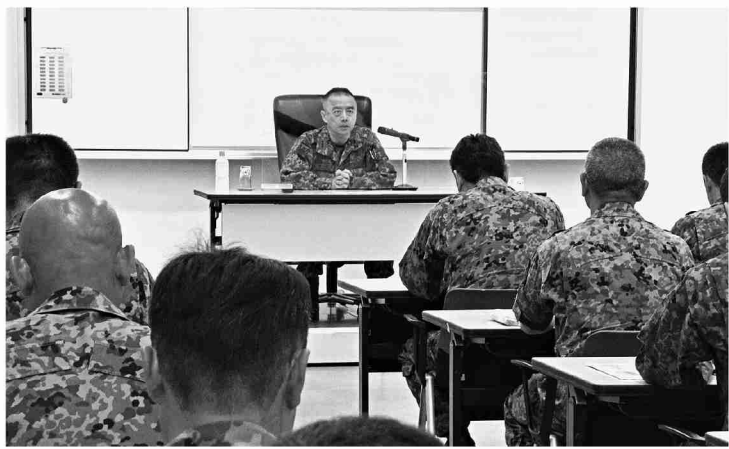
本訓練は方面直轄部隊の運用・訓練担当者等36人が参加し、さらに訓練隊曹等22人が研修し、座



分隊編成でのGCSS訓練

「ジオラマ訓練によって平素から治安出動時における各種権限、対応要領を理解できた」など述べた。また訓練を視察した陸上幕僚監部法務官は「訓練でのシナリオは一つの場面にすぎないため、知恵と想像力をより発展させ、フラッシュアップさせることが重要」と所見を述べた。

方面最先任上級曹長等会同 活発な議論交わす



總監訓話



グループ討議の様子



施策を説明する方面最先任

方面隊は5月18日・19日の両日、朝霞駐屯地において令和5年度第1回方面最先任上級曹長等会同を実施した。会同には方面隷下各部隊の最先任上級曹長等が参加し、總監訓話、方面施策、グループ討議、各部隊情報提供等が実施された。

總監は訓話において「指揮官とのコミュニケーション・緊張感・誇りの保持・最先任ネットワークの活用・幹部にはできない組織の精強化・陸曹のキャリアパスの以上5点を要望する。私の信条

は『あい(愛)』で始まり『うん(運)』を信じ、『えん(縁)』を大事に『おん(恩)』を忘れない、そういう生き方をしたいと思っている。参りにしていただきたい。陸上自衛隊には階級・役職等、いろいろあるが、最先任・先任が陸上自衛隊の精強化・活性化・健全化に寄与しているのは間違いないので、誇りと自信をもってしっかりとやってもらいたいと述べた。

レディースメタルバンド「FATE GEAR」朝霞駐屯地で動画撮影



隊員との記念撮影

公開3カ月で100万回再生を突破するなど、海外で人気が高いレディースメタルバンド「FATE GEAR」が4月26日、朝霞駐屯地で動画撮影を行った。



体験試乗を楽しむ来場者

迫力とエンジン音に感動 広報センターで戦車体験試乗

陸上自衛隊広報センターは6月3日・4日の両日、74式戦車体験試乗を開催し、陸上自衛隊への関心と理解の促進を図った。本イベントは機甲教導連隊(駒門)等の支援を受け、74式戦車に乗車用ユニットを設置して朝霞駐屯地内約500メートルのコースを2日間で56便運航し、約500人の来場者とその迫力を楽しんだ。来場者からは「走行する迫力とエンジン音に感動した。また乗りたい」などの感想があった。



轟音を立てて走り出す戦車

第1師団

魅せた近衛魂 雪辱を果たす 32普連 悲願の初優勝



悲願の初Vを果たした近衛戦士

第32普通科連隊は3月4日から5日までの間、航空自衛隊入間基地（埼玉県狭山市）において、4年ぶりに開催された防衛大臣杯第38回全自衛隊拳法選手権大会に参加し、重量階級別5名1組の46チームによって競われた団体戦で悲願の初優勝を果たした。

32普連はコロナ禍による中断前の第35回大会で準優勝、それ以前にも3回準優勝の成績を残しているが、あと一勝が取れずにいた。

32普連は2回戦から登場し、順当に勝ち進み、5回戦で前回大会決勝戦で辛苦をなめさせられた因縁の相手である優勝候補の12普連（国分）と対戦した。事実上の決勝戦ともいえる注目の一戦を2勝3分で下した後、破竹の勢いで決勝戦まで勝ち進んだ。

11普連（東千歳）との決勝戦では、副将の須永3曹が終始果敢に攻め続け試合を決めて、悲願の初優勝を勝ち取った。



4大会ぶりに上位入賞を果たした頭号戦士

- 頭号戦士の紹介**
- 【監督】 野島 正典 1曹
 - 【先鋒】 蚊口 武丸 3曹
 - 【次鋒】 仁尾 正樹 3曹
 - 【中堅】 郷石 近光里 3曹
 - 【副将】 土屋 公次郎 3曹
 - 【大将】 福田 賢治 3曹

頭号戦士 全国の舞台で躍進

全日本銃剣道優勝大会準優勝

第1普通科連隊は4月23日、日本武道館で行われた第67回全日本銃剣道優勝大会に参加し、防衛省第1部（5名1組の61コチームの団体戦）において準優勝の成績を収めた。

1普連は第61回大会で優勝以来、第62・63回、コロナ禍による中断をはさんで第66回大会と3大会連続で上位入賞を逃してきた。

本大会では4回戦で前回大会3位の40普連（小倉、準決勝戦では同じく準優勝の16普連（大村）を倒して順調に勝ち進むことができた。しかし決勝戦においては、2連覇を狙う普連連に力戦奮闘するも力及ばず準優勝となった。

近衛戦士の紹介

- 【監督】 中園 健治 1曹
- 【選手（66kg級）】 野呂 宙士長
- 【選手（73kg級）】 加賀谷 廉 3曹
- 【選手（81kg級）】 堀 蒼慶 2曹
- 【選手（90kg級）】 須永 侑 3曹
- 【選手（100kg級）】 寺田 青雲 2曹
- 【選手（110kg級）】 早川 潤伸 2曹
- 【選手（120kg級）】 工藤 龍愛 3曹
- 【選手（130kg級）】 本管 中 須永 侑 3曹
- 【選手（140kg級）】 谷古 宇 健太郎 3曹



東京消防庁と連携した1特防の除染活動

用語の解説

CBRN (シーバーン)
C = Chemical (化学)
B = Biological (生物)
R = Radiological (放射性物質)
N = Nuclear (核)

CBRN事態対処能力の向上

東京消防庁との合同訓練で連携強化

師団は5月13日、東京消防庁第8消防方面訓練場（東京都立川市）において、第1特殊武器防護隊、第1後方支援連隊、第1飛行隊、中央特殊武器防護隊及び第126地区警務隊と東京消防庁のNBC専門部隊とCBRN事態発生時の対処に係る合同訓練を実施した。

CBRN事態とはC（化学）・B（生物）・R（放射性物質）・N（核）の英語の頭文字を取ったもので、これらによって発生した事態のことを意味し、今回の訓練はテロ攻撃に伴うCBRN事態の中でも特に、CB（化

師団は4月18日から25日までの間、令和5年度春季北富士演習場定期整備を担任した。

本整備は第1師団各部隊等の作戦遂行能力向上を図る練武の地である北富士演習場の機能を維持・向上させるとともに、周辺住民の安全の確保及び作戦環境の醸成を図ることを目的に実施された。

残雪の霊峰富士の裾野において、32連隊長を整備隊長として師団隷下8コ部隊、東部方面特科連

隊及び部隊訓練評価隊を含む計10コ部隊で編成された北富士整備隊約1200人が本整備に臨んだ。整備隊は中期整備計画に基づき、特科射撃陣地の新設及び東富士演習場との接続路の増設を行い、演習場の機能向上を図るとともに、排水設備、機動路の維持・補修、演習場全域の除草等を行い、その機能維持を図り、整備任務を完了した。



U字溝設置位置の平床作業

優秀隊員紹介

【第32普通科連隊】
本管中 石川 隼人 士長
1中 野田 祥司 士長
2中 増田 海斗 士長
3中 吉田 和真 士長
4中 高橋 隼人 士長
5中 小山田 優祐 士長
重迫中 濱野 来道 3曹
若松 玲那 士長

【第1後方支援連隊】
補給隊 横川 珠愛 士長
【第1偵察戦術大隊】
偵察中 米谷 一穂 2曹
戦闘中 前野 翔太 1士
【第1施設大隊】
本管中 三當 涼太 3曹
2中 長谷川 裕気 士長
【第1通信大隊】

【東部方面特科連隊】
相川 廣太 士長
徳永 枝延 2士
【部隊訓練評価隊】
北田 洋平 2曹
門間 浩樹 3曹
【第1音楽隊】
小山 智光 3曹
【第1師団司令部付隊】
阿出川 康太 士長
安藤 貴一 3曹

真に戦える射手の育成に向けて 射撃指導者集合訓練



小銃による至近距離基本射撃

師団は4月19日から21日までの間、練馬駐屯地及び朝霞射場において、及び朝霞射場において、第1回射撃指導者集合訓練を実施した。

本訓練は各部隊の射撃指導者等に対し、狙撃及び至近距離射撃に関する訓練及び射撃術、射撃予習における着眼等の教育をして射撃指導能力の向上を図ることを目的に実施した。

併せて令和5年度師団小火器射撃競技会の実施要領等の認識を共有するとともに、射撃練成の着眼を教育し、各部隊における当該競技会練成の骨幹となる指導者の育成・拡充を図った。

飛はヘリにより採取されたサンプルを研究機関に緊急空輸を実施した。

本訓練を通じ事案発生時の一連の対応手順を実動により相互確認し、連携の深化と運用の実効性の向上を図った。

第1師団 ホームページ
facebook

第12旅団

訓練基盤の更なる充実 相馬原・関山演習場定期整備

旅団は5月9日から19日までの間、相馬原演習場及び関山演習場において令和5年度方面隊春季期整備を担任し、各演習場の機能向上に資する基盤整備及び維持管理整備を行った。

今回の整備は、副旅団長を関山演習場整備隊長、第12施設隊長を相馬

原演習場整備隊長として行い、第1施設団、東部方面混成団、東部方面特科連隊及び陸上総隊からの支援を受け、実施した。

整備に先立ち、隊員の基礎動作として、チェーンソーや草刈り機を使用する隊員に対しての施設器材の取扱、整備及び安全

全教育を行い、安全管理に万全を期した。演習場整備は、訓練部隊の運用構想に基づく演習場機能の維持向上を重視して行った。機能維持の整備としては、機動路や各射場の補修、境界及び防火帯における除草等を実施した。

また機能向上の整備としては、16式機動戦闘車(MCV)が使用する機動路や射場の改修・視界確保、普通科連隊等の機動展開地域整備や迫撃砲射場整備を中心に行われ、訓練基盤のさらなる充実を図った。

なお本整備期間中、旅団は12日に相馬原演習場、13日には関山演習場において総監の実視を受け、各整備状況について報告するとともに、現地での激励を受けた。



停弾提の除草をする12偵戦大(関山)



84RR射座を改修整備する12施(相馬原)



MCV機動路の整備状況を確認する総監(関山)



空中消火を行う12ヘリのCH-47(群馬県沼田市)

旅団は4月24日から27日までの間、群馬県沼田市で発生した山林火災に係る災害派遣を実施した。

この山林火災は、23日に発生。旅団は速やかに県庁へ連絡要員を派遣し、情報収集・所要調整を行い、翌24日、群馬県知事から旅団長に対する災害派遣要請を受け、第12偵

察戦闘大隊を現地に派遣するとともに、第12ヘリコプター隊のCH-47による空中消火活動を実施した。また消火バケットの装着支援や各地への連絡要員として、12高射、12通、12化防及び司令部付隊の隊員を派遣した。消火活動は27日、火災鎮圧による撤収要請までに、61回の空中消火を行った。

この災害派遣中の25日、群馬県桐生市でも山林火災が発生。同日県知事からの災害派遣要請を受け、旅団は現地に第12ヘリ隊のCH-47を派遣。第1ヘリコプター団のCH-47による支援を受け、12回の空中消火を行い、26日の朝、火災鎮圧により撤収要請を受けた。

旅団は引き続き空中機動力を生かし、あらゆる災害に対応するべく、任務にまい進していく。

また旅団は、大型連休

相次ぐ山林火災に対応 群馬県・長野県へ災害派遣

この災害派遣中の25日、群馬県桐生市でも山林火災が発生。同日県知事からの災害派遣要請を受け、旅団は現地に第12ヘリ隊のCH-47を派遣。第1ヘリコプター団のCH-47による支援を受け、12回の空中消火を行い、26日の朝、火災鎮圧により撤収要請を受けた。

旅団は引き続き空中機動力を生かし、あらゆる災害に対応するべく、任務にまい進していく。

地域に愛され1万5千人が来場

松本駐屯地創設73周年記念行事



女性隊員によるリペリング降下

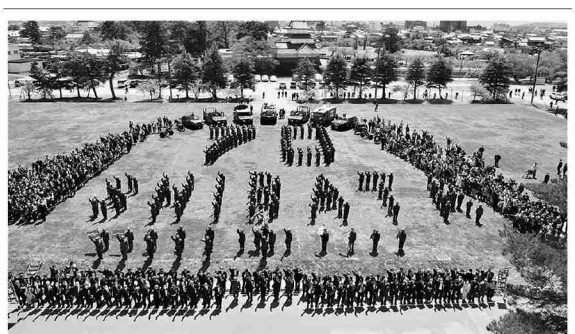
松本駐屯地は4月23日、松本駐屯地創設73周年記念行事を挙行了。行事は晴天に恵まれ、国会議員、県知事をはじめとした地元首長、各協力団体などの来賓に加え、県内外から約1万5

千人が来場した。行事は観閲式に引き続き、音楽演奏、和太鼓演奏、オートバイドリル、模擬戦闘訓練展示が行われた。特に女性隊員によるヘリコプターからのフ

ラストロップによるリング降下や、松本駐屯地太鼓部と滝ヶ原駐屯地太鼓部、航空自衛隊入間基地太鼓部との合同演奏は来場者から多くの拍手が送られた。

松本駐屯地は、さらに地域に愛され信頼される駐屯地を目指して、訓練にまい進していく。

新発田駐屯地は4月22日、新発田駐屯地開設70周年記念行事を挙行了。記念行事は晴天に恵まれ、国会議員、県知事をはじめとした地元首長、各協力団体などの来賓に加え、隊員家族や一般来場者を合わせた約4千人が会場を訪れた。



来場者を囲んでの記念撮影

来場者と共に節目を祝う

新発田駐屯地開設70周年記念行事

観閲式では第30普通科連隊による徒歩行進を先頭に、旅団隷下部隊の車両や航空機、また航空自衛隊新潟救難隊の航空機も参加した。4年ぶりに一般開放を楽しみにしていた来場者に、威風堂々の姿を披露した。

また第12音楽隊による音楽演奏の後、同駐屯地司令の号令の下、隊員が新発田駐屯地開設70周年記念の文字を作った。その際、来場者に囲りを囲んでいただき記念撮影を行い、来場者と共に70周年の節目を祝った。

頑張れ自候生

第2普通科連隊(高田駐屯地)、第13普通科連隊(松本駐屯地)、第30普通科連隊(新発田駐屯地)及び第12後方支援隊(新町駐屯地)の各部隊は、自衛官候補生課程教育を実施中。3月末に着隊し入隊した彼らが、まもなく教育を修了して自衛官になる日が近づいている。



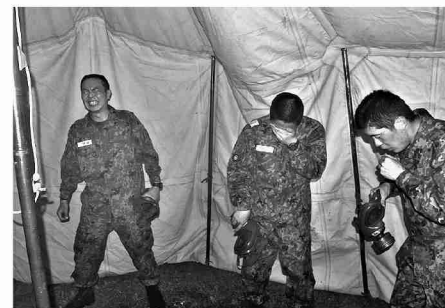
心を落ち着かせて射撃予習(高田)



姿勢を低くほふく前進(新発田)



同期より1秒でも早く疾走(松本)



防護マスクの有効性を確認(新町)

第1施設団

令和5年度団統一検査 隊務の実施状況を把握

施設団は5月16日から19日までの間、第301タンブ車両中隊及び第1施設団本部付隊に対して

団統一検査を実施した。本検査は団長が検査官となり、①行政文書管理監査、②個人情報保護監査、③服指指導現況把握、④定期秘密保全検査、⑤情報保証定期監査、⑥物品管理検査、⑦補給整備

検査、⑧車両運行管理及び⑨経費執行の計9項目について検査、監査及び指導を実施し、正規適正

な業務の実施状況を確認するとともに、不備事項の指導等により業務要領の改善に資することを目的として行われた。

団は統一検査を通じ、受検した部隊が創意工夫により業務の正規適正化・効率化に取り組んでいることを確認するとともに、指導及び助言によりさらなる作戦基盤の充実を期待し検査を終了した。

検査、⑧車両運行管理及び⑨経費執行の計9項目について検査、監査及び指導を実施し、正規適正

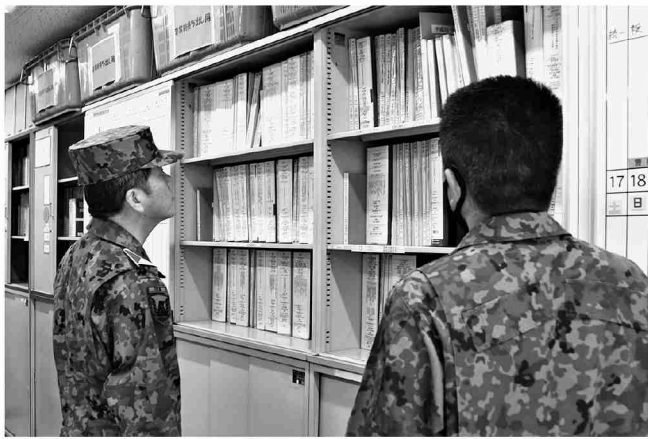
とを目的とする本教育において、若年事務官等は前段、防衛省の変遷や自

衛官と文官の関係等の教育を受けた。また、先輩

職員との懇談時間の中で、仕事や生活等に関する事項についてアドバイスを受けることにより、今後の自衛隊生活における具体的なイメージを掴んでいた。



可搬記憶媒体の保管状況点検(団本部付隊)



行政文書の保管状況点検(タンブ中隊)



補給品等の保管状況点検(タンブ中隊)



車両の管理状況点検(団本部付隊)



通信器材の保管状況点検(団本部付隊)

フォロー募集中

にち

【YouTube】

【Twitter】

隷下部隊をつぶさに確認

団長初度視察

施設団は4月27日に第307施設隊(宇都宮)、5月11日に第4施設群(座間)及び5月25日に第306施設隊(松本)の初度視察を実施した。各部隊において幹部挨拶、状況報告及び隊内巡視等を行った。



生活環境の確認(307施設隊)



儀じよう(4施設群)



部隊長等との懇談(306施設隊)

5月11日、第4施設群の視察では第388施設中隊宮原3尉の指揮する儀じよう隊の栄誉礼と儀じようを受けた後、部隊を視察した。

5月25日、第306施設隊の視察では部隊長等との懇談で部隊の現況を把握した。

5月25日、第306施設隊の視察では部隊長等との懇談で部隊の現況を把握した。団長は隊内巡視後、施設団の使命等企図の徹底と部隊及び隊員への期待を訓示し隷下部隊の視察を終了した。

関東補給処

若年事務官等が識能習得 施設研修等で知見広げる



3コグループに分れ先輩職員と懇談する若年事務官等



自動倉庫を研修する若年事務官等(右)

関東補給処は4月27日霞ヶ浦駐屯地において令和5年度若年事務官等教育を

実施した。初級事務官等として必要な識能を習得させるこ

とを目的とする本教育において、若年事務官等は前段、防衛省の変遷や自

衛官と文官の関係等の教育を受けた。また、先輩

職員との懇談時間の中で、仕事や生活等に関する事項についてアドバイスを受けることにより、今後の自衛隊生活における具体的なイメージを掴んでいた。

関東補給処

霞ヶ浦駐屯地公式ホームページ
https://www.mod.go.jp/gsd/eae/eadep

Twitter
フォロー募集中!!

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地公式
@CampKasumigaura

格闘基幹要員集合訓練

技術・練度の向上を目指す



関東補給処は5月15日から26日までの間、霞ヶ浦駐屯地において令和5年度

第1次格闘基幹要員集合訓練を実施した。本訓練は格闘基幹要員

これに先立ち10日から12日まで格闘指導官らが

格闘基幹要員は格闘指導官の下、刺突や打撃等の基礎技術と、小銃や拳銃を携行した状態での格闘動作等の応用技術の練習に励んだ。

本訓練により格闘指導官及び格闘基幹要員の練度を向上させるとともに、今後の訓練の資を得た。

に対し、格闘技術や訓練実施要領等に関する識能を習得させ、併せて練度の向上を図ることを目的に行われた。

関東補給処は4月25・26日の両日、霞ヶ浦駐屯地において令和5年度前期陸曹候補生選抜(選考)試験を実施した。

1次試験を合格した各部・各支処等15人の隊員は、2日間にかけて面接と分隊教練に臨んだ。

陸曹候補生 1次合格者、2次試験に臨む 練成成果を遺憾なく発揮



分隊を指揮する受験者

受験隊員は面接官の質問に対し淀みなく答えるとともに、陸曹昇任への意気込みや、自身の考えをしっかりと口調で応えた。また分隊教練においても声を張り上げつつ勇ましく分隊を指揮し、練成の成果を遺憾なく発揮した。

後支隊

総火演参加部隊を全力支援 影の立役者として奮闘

東部方面後方支援隊は5月10日から27日までの間、東富士演習場において実施された「令和5年度富士総合火力演習」に参加し、兵站支援（野整備、燃料補給、洗濯支援等）を行い、総合火力演習の任務達成に寄与した。

富士教導団をはじめとした演習実施部隊の要求に即応するため、富士教育直接支援大隊を基幹に約200人の隊員をもって、4コ整備隊及び補給隊からなる「整備支援隊」を編成し支援した。特に演習実施部隊に対して、



補給品を受領する隊員

する野整備支援においては、補給統制本部及び東補給処と連携した迅速な部品の補給態勢を万全な故障整備、装備品の点検及び技術援助を実施し得る態勢を確立し、演習部隊の高可動率を維持した。

その他、第103補給大隊は、散水車等に対する燃料交付及び他方面隊等からの増援部隊に対する洗濯支援等、総合火力演習の管理支援任務を完了した。引き続き、東部方面後方支援隊は、昼夜を分かたず支援を継続し、野外における補給・整備支援能力の向上を図り、第一線部隊を支えていく。



155mm自走榴弾砲を整備する隊員



16MCMVを整備する隊員

シ通群

第67回全日本銃剣道優勝大会 接戦制し、通信科初の優勝



決勝戦を戦う次鋒 森部3曹

東部方面システム通信群は4月23日に日本武道館で実施された第67回全日本銃剣道優勝大会防衛省第2部に朝霞駐屯地Bチームとして参加した。銃剣道練成隊は2月に実施された通信科職種銃剣道大会、3月に実施された東日本銃剣道大会に参加して着実に練度を向上させるとともに、闘争心及び団結を強化し、万全の状態で大会を迎える事ができた。

大会は初戦から接戦を強いられる中、2年前のベスト8の壁を突破して初の決勝戦に進出、決勝



第67回全日本銃剣道優勝大会



優勝後の記念撮影

戦も接戦を制して、初優勝に輝いた。

監督を務めた指揮所通信大隊 佐藤2曹は「選手が最後まで諦めずに戦ってくれました。これで

混成団

すべては学生のために 女教隊新隊員320人を教育



入隊式で申告する女性自衛官



行進訓練をする女性自衛官

女性自衛官教育隊は3月27日・28日の両日に新隊員を受け入れ、第20期一般陸曹候補生課程前期（179人）及び第21期自衛官候補生課程（141人）の合計320人の教育を行っている。

令和2年以降はコロナ禍のため、感染拡大防止のためマスク着用の徹底や平素の声出しの規制、

県を跨ぐ大規模演習場での野外訓練を抑制していた。今年度は感染拡大防止に努めつつ、陸上自衛官としての意識付けや野外における戦闘戦術を教えるため、平素の声出しや朝霞駐屯地以外での訓練を実施した。また東部方面後方支援隊及び東部方面システム通信群と協同した富士野営訓練（夜3日）も計画し、新隊員教育の総仕上げとした。女教隊は今年度、新たな施策として、低体力者の基礎体力を向上させるトレーニングプログラムを作成し活用した。また部隊配置後のインシニアップを図るため、昨年度新隊員教育を修了した先輩陸士隊員による等身大の職種説明等を取り入れる等「すべては学生のために」を合言葉に隊一丸となって学生教育に日々情熱を注いだ。

新隊員は6月29日に前期教育を終え、7月1日後期の教育部隊配置となるが、国民の負託に応える陸上自衛官として、凛々しく、逞しく育て上げるため、引き続き教育専管部隊としての任務を遂行する。

2高群

第301高射運用隊が新編 火入れ式で一致団結



群長から隊旗を授与する運用隊長(右)



火入れ式での集合写真

第2高射特科群は3月16日、松戸駐屯地において対空戦闘指揮統制装置（ADCCS）装備に伴う群改編（第301高射運用隊新編）記念行事等を実施した。

第301高射運用隊は松戸駐屯地に所在し、高射特科群が担任する方面隊の対空作戦調整及び対空戦闘指揮・統制に係る業務を主たる任務とする。

火入れ式において第301高射運用隊長 八鉈3佐は「ADCCS自体は、導入から既に十数年経過しているが、高射運用隊としての運用は初めてであり、前例のないものである。31人という少数精鋭の部隊ではあるが、第2高射特科群ひいては

東部方面隊の対空作戦の要となる部隊の一つとして、創造的な訓練を重ね、独特な任務をも完遂できる強靱な部隊となり、群の任務達成の一翼を担えるよう精進していく」と力強く語った。

4月12日には高射運用隊を含めた群対空戦闘訓練において師・旅団と連携した対空戦闘を実施し高射運用隊としての一歩を刻んだ。

第2高射特科群はさらなる対空戦闘能力の向上を図るとともに、首都防空の重要性を深く認識し、使命感を持って日々の訓練にまい進していく。

最先任 上級曹長

「武士道精神」

第1師団

中村 元則 准陸尉

令和4年8月1日付で、第1師団兼ねて練馬駐屯地最先任上級曹長を拝命した中村准尉です。第1師団は頭号師団としての矜持があります。それは『日本の存続は我が(師団の)双肩に有り』すなわち首都防衛を



頭号師団

担う第1師団の敗北は、国家主権の喪失を意味します。そのため高度な近接戦闘射撃、対テロ戦闘能力が求められ、唯一無二の最強師団として日夜訓練に励んでいます。元横綱白鵬が引退記者会見でこのような話をしていました。「たくさん技を持っていて人は一つも怖くなく、型を持って基礎動作を訓練する事が

球、プロ野球まで広く行われていますが、自衛官の「武器の取り扱い」と通ずるものがあります。銃を貸与して間もない新隊員から部隊配置となっても、銃を返納する日まで射撃に必要な各種動作、姿勢、照準等を訓練します。各職種や部隊においても「素振り」に通ずる基礎動作があり、それを高ストレス環境下においてでもできるように習性化することが「基礎動作」ではないでしょうか。私は勤務する上で日本人の精神性、武士道精神を大切にしています。われわれの任務は国防ですが、国土・国民を守ったとしても、そこに日本人の道徳心・倫理観がなければ日本を守ったとは言えないでしょう。日本の戦士たる自衛官は、武士道を実践すること自体が日本の確信的伝統を継承しつつ、日本を守ることだという教えを私は受けました。

自ら日本伝統文化の体現者となり、指揮官の補佐に徹し、健全でかつ実戦に即応できる隊員の育成に力を尽くすとともに、先人の御霊に対し恥な日本人として職務にまい進します。

オピニオン 一言申し上げる

東方オピニオンリーダー 加藤 良二



オピニオンリーダーの委嘱を受けて4年目になります。私は下志津駐屯地を務めております。「つづじ会」へ参加した時の本業は、東邦大学医療セン

地よりの推薦をいただき、オピニオンリーダー会において昨年度は副会長に選任していただきました。下志津駐屯地(高射学校含む)では、後援会である「下志津駐屯地つづじ会」の顧問を務めております。「つづじ会」へ参加した時の本業は、東邦大学医療セン

「笑顔で日々挑戦」 東部方面航空隊 朝倉 ひなた 陸士長

今月のフェアレディは、東部方面航空隊本部付隊に所属している朝倉ひなた士長です。朝倉士長は北海道生まれ、群馬育ちで、31年3月に入隊し、9月に部隊配属、有線通信手として日々訓練に励んでいます。



で、人の温かさや笑顔に助けられました。その経験から、自分も多くの人を助け、周りを笑顔にできる人になりたいと思います。自衛隊に入隊しました。Q2・現在の職務についての感想は?

有線通信手として各部隊との通信を構成し、維持・運営をしている中で体力面・精神面が鍛えられています。自分の長所

である根気強さを生かすことができ、とてもやりがいを感じています。Q3・休日の過ごし方は?

7月に昇任し、3曹となります。そのため今よりさらに気を引き締めたいです。Q5・最後に一言

陸曹となり、多くのことに挑戦して自分自身の可能性を広げていきたいと思っています。これからも明るく笑顔で1日1

日を大切に過ごしたいと思えます。Q2・演奏している楽器の魅力は?

小学生の時にサクソフォーンと出会い、見た目と煌びやかな音に魅了され、この楽器を選びました。この楽器の魅力は、演奏したことが感慨深

く、成人式の思い出となりました。成人式参加者から「サクソフォーンの演奏、感動したよ!」との声をいただいたことで演奏に自信が付き、任務にまい進できるようになりました。Q4・趣味は?

温泉に入ることが多いです。元々温泉が好きで、部隊配属されてから色々な温泉が近くにあることを知り、より温泉と群馬が好きになりました。駐屯地近郊の伊香保温泉にある長い階段を登ると、とても眺めの良い景色を見ることができ、同じような眺めの良い温泉が群馬県に多数あるので、同期と共に温泉巡りを楽しんでいます。Q5・最後に一言

隊員の方にも音楽隊の演奏を聴いていただきたいので、ホールや駐屯地で演奏がある際は、是非お越しください。サクソフォンの魅力が伝わればと思います。

東方男児 「楽器の魅力」 第12音楽隊 住谷 龍寿 陸士長

今月の東方男児は、第12音楽隊の住谷 龍寿(りゅうじゅ)士長です。住谷士長は茨城県ひたちなか市出身の20歳。学生時代、吹奏楽に青春を捧げた彼は、高校を卒業と同時に入隊。第12音楽隊でサクソフォン奏者として活躍しています。Q1・自衛隊に入隊したきっかけは?



Q1・自衛隊に入隊したきっかけは?

Q2・演奏している楽器の魅力は?

Q3・思い出深い演奏は?

Q4・趣味は?

Q5・最後に一言

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは?

Q2・演奏している楽器の魅力は?

Q3・思い出深い演奏は?

Q4・趣味は?

Q5・最後に一言

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは?

Q2・演奏している楽器の魅力は?

Q3・思い出深い演奏は?

Q4・趣味は?

Q5・最後に一言

Q1・自衛隊に入隊したきっかけは?

Q2・演奏している楽器の魅力は?

Q3・思い出深い演奏は?

Q4・趣味は?

Q5・最後に一言

編集後記

犬の散歩をしていると、雨に濡れた紫陽花が曇りに空に映えるのを見ながら「6月かぁ」。

犬の散歩をしていると、雨に濡れた紫陽花が曇りに空に映えるのを見ながら「6月かぁ」。